

第 3 3 号

平成26年11月1日発行
 一編集・発行一
 豊津地区まちづくり委員会
 (広報記録専門部)

とよつだより

つないだ手 みんなで楽しむ 運動会

～ 豊津小1年 木村文香さん ～

第9回とよつふれあい運動会

涼風の中爽やかに汗を流しました

十月十一日(土)



組み体操2014

土ぼこりを舞い上げる強い風が吹いたものの、暖かな日差しも差すといった好天のもと、「第9回とよつふれあい運動会」が開催されました。

例年どおり午前中は小学校の競技を中心に、午後からは児童は家族と合流し、一緒に地域の競技を行うというプログラムで行われました。

児童たちは、連日の練習の成果を十分に発揮し、すばらしい演技を披露、喝さいを浴びました。紅白対抗リレーを初めとする競技では、真剣勝負が繰り広げられました。

地域の方々が参加した競技はほとんどぶつつけ本番だったと思いますが、児童に負けない力の入った勝負が展開されました。普段使わない筋肉を精一杯動かし、いい汗をかいていました。

今年の優勝は爪木Aでしたが、勝負は僅差で、どのチームにも優勝の可能性はあると思います。

来年は十回目の記念大会ですので、更なる積極的な参加をお願いします。

天候にも恵まれて、第九回とよつふれあい運動会が盛大に行われました。爪木区もAチームが優勝の栄えを得ることができ、たいへん喜びにたえません。役員さん、出場選手の皆さん、御苦勞様でした。

また、見学・応援いただいた皆さん、ありがとうございました。

地域全員でつかんだ優勝

爪木区長 君和田昇

おめでとう！
 優勝 爪木A 第23
 二位 船津 第23
 三位 大大



優勝した爪木Aのみなさん

子ども達が伸び伸び 有意義な一日
 大会長(豊津小学校長) 大川浩一

「とよつふれあい運動会」は、学校と地域との合同運動会であり、他の地区にはない、豊津の自慢の行事の一つでもあります。午前中は学校中心の運動会となり、午後からは子ども達は地域に戻り、地域の一人として参加しました。子ども達が、伸び伸びと競技していたことがとても印象的でした。また、笑いのある和やかな雰囲気、スローガンの『みんなで楽しむ運動会』となりました。そして、地域の交流が一層深められ、有意義な一日となりました。



第9回とよつ
ふれあい運動会



運動会の一コマ



着せあって
「曇洋」

見る人の心に感動を生んだ、
小学校4～6年生の組み体操2014



どうぶつに
へんし〜ん



食いしん坊
パンざい
1位新田(区対抗)



五入れ 1位
大船津第二
(区対抗)



区対抗リレー
運動会の花形区対抗リレーは
持戦の末、大船津第二が勝利
しました (区対抗)



クイズチャンピオン
優勝の大森さん
(新田)



塚原ト伝とよつ流
60歳以上の方々
がんばりました



爪木はん?



みんながんばれ



綱引き
力持ちNo.1は
爪木Aでした
(区対抗)

種目 団体	No. 4 玉入れ	No. 11 つなひき	No. 20 食いしん坊 パンざい	No. 24 区対抗リレー	総合 得点	順位
新田	40	30	60	30	160	4
大船津 第1	15	20	50	40	125	6
大船津 第2	60	20	10	100	190	2
大船津 第3	30	30	30	80	170	3
爪木 A	50	80	20	60	210	1
爪木 B	15	60	40	20	135	5

今年も参上!



山マチ化粧教室



「知っておきたい心臓病の話」 (七月十二日)

要点

講師 小山記念病院 田鎖先生

鹿嶋市の健診受診率は三十二%と低く、県内三十二位で、豊津地区は男女とも市の受診率を下回っています。また、市の死亡率では、男性は急性心筋梗塞が県内ワースト(以下同様)八位、糖尿病が七位、女性には子宮がんが三位、急性心筋梗塞が八位、脳内出血が七位となっています。

豊津地区は肥満(メタボ)が多いため、心臓に関係がある病気が多く、心臓病の多くは高血圧や肥満などの生活習慣病が関係しています。

特定健診やがん検診は、早期発見のためにも必ず受診しましょう。そして狭心症や心筋梗塞を未然に防ぐため、体に異変があった時は、面倒でも記録して置くことを勧めます。

楽学(ビーズアクセサリ作り) (十月四日)

ビーズアクセサリ作り

を十三人で初体験しました。老眼鏡のお世話になったり、ハプニングもあったりしましたが、コットンパールとガラスのビーズを組み合わせたネックレスとピンブローチを全員時間内に仕上げられました。とても素敵な作品だったので、その日は夜まで身に付けて沢山の人に好評でした。丁寧なご指導をくださった荒張先生、並びにお世話してくださった正木さん(旧姓成毛・大船津出身)、楽しいひと時をありがとうございました。作品は、とよつだよりで展示します。ぜひ、見てください。



(注) コットンパール綿の回りに特殊な塗料でパールの輝きと質感を出した軽量ビーズ

収穫の夏!

とよつキッズ

収穫祭&バーベキュー



五月に子ども達が作付したリトルファームの作物を収穫し、感謝しながらいただく「収穫祭」を七月二十六日に行いました。

今年は文化福祉部の事業に、豊津小子ども会育成会が相乗りする形で行ったため、多くの参加者で賑わいました。(子ども四十一人・大人三十九人・幼児五人)

それぞれに見事に実ったミニトマト、西瓜、枝豆、ピーマン、トウモロコシを収穫し、お昼にはバーベキューの食材やデザートとして美味しくいただきました。

収穫祭の日はいくの猛暑に見舞われましたが、子ども達は暑さを苦にせず、あまり経験のない農作物の収穫を楽しみました。また、バーベキューを準備から手伝った子ども達は、大汗を流しながらも、お腹いっぱいになるまで食べていました。

初の共催事業としての試みで課題もいくつか見えましたが、元気な声が響き渡った一日でした。お疲れ様でした。



とよつかるためぐり シリーズ⑬

⑥ 先導で

進むは 御座舟

御船祭り



☆ 平成二十六年九月二日 午年 ☆
待ちに待った十二年に一度の御船祭の吉日。皆さんの大きな期待に沿うように、雲一つない絶好の天気に恵まれました。

鹿島神宮を出発した約二百人の祭列は、約二キロの陸路を経て、大船津一の鳥居付近から約一二〇隻の鮮やかな船に乗り込みます。その先導を務めるのが新田神楽。雌雄の獅子が龍頭を飾った御座舟に乗り込み、笛や太鼓が囃される中、船団は厳かに出発し、水上絵巻の始まりです。上空にはマスコミのヘリコプター、堤防には二重三重の観衆と、この日を待ちわびていたかのような大賑わいでした。

色とりどりの装束を身にまとった参加者や約三万人と発表された観衆の中には、それぞれ十二年前の思い出を振り返ったり、十二年先の次の祭りを想像したりと、思い思いにこの優雅なお祭りを楽しみました。



今年も賑やかに♪ 敬老のお祝い



今年の「平成26年度豊津地区敬老会」は、9月14日に新仲家で行われました。今年度の豊津地区の敬老者（昭和18年4月1日以前に出生した方）は304人で、そのうち122人の参加がありました。

開会前には、今年度新たに敬老会に仲間入りされた方々の集合写真撮影（写真左）が行われ、敬老会第1部では白寿・米寿・喜寿の節目の方々への記念品贈呈などの式典が行われました。

第2部では参加者同士、楽しく歓談・飲食するとともに、小学生2人による作文発表や「YOSAKOIとよつ」の力強い踊りの披露などがありました。また、豊津地区の敬老会では初めてシルバーリハビリ体操が行われ、リハビリ体操指導員の皆さんにならって軽運動もしました。

このような場に出られるのも、健康あってこそです。来年も皆さんの多くの笑顔とお会いできることを願っています。

* 鹿嶋市全体 *

○ 敬老者

10,551人
(8/1現在)

○ 最高齢者

104歳



キッズ ほたる見学会

(七月五日)

ほたるが見つけられるかという心配を抱きながら、総勢七十九人の参加で実施しました。

参加者の「見たい！」という気持ち伝わり、数匹のほたるを発見。感動の一瞬でした。環境の悪化（変化）によりほたるは激減していますが、流れ川にはホタルの餌（カワナ）がい

て、コケや草もあり、水の流れも緩やかと良い要件があります。ある程度の泥が堆積していれば、ホタルは生育できるとあらためて学びました。

この見学会の前には、文化福祉専門部の皆さんの調理による美味しいカレーをいただきました。子どもたちにとって、とても楽しい夏のお楽しみ行事の一つとなりました。

行事の一つとなりました。

キッズ 移動教室

(八月五日)

地域環境部員、文化福祉部員、子どもたちと保護者、総勢二十八人を乗せた市バスは、最初の見学場所の鹿島浄水場へ。施設職員の説明を熱心に聞いた後、施設を案内していただきました。まず北浦の水が運ばれてくる着水井（ちやくすいせい）の迫力に圧倒されました。そして、何度か浄化されながら、水がきれいになっていく過程を見学し、何気なく使っている『水』の大切さを学習しました。



次に、行方市の「霞ヶ浦ふれあいランド」へ移動し、虹の塔から雄大な霞ヶ浦を眺め、水の科学館で映像を見て、意外と知らない身近な『水』を学び、楽しいひと時をすごしました。



筑波山でいい汗！

(九月二十八日)

今年の豊津ハイキングは、小学校の遠足などで馴染みのある筑波山。つづじヶ丘から女体山、御幸ヶ原までの岩場の多いコース設定でしたが、皆さん、健脚を披露。爽やかな初秋の筑波山を満喫しました。

・・・・・

『とりあえず一歩』と筑波山

スポーツ健康づくり専門部 副部長 大川 悟

紅葉前のほわっとした季節、二十一名の参加を得て筑波山に登ってきました。初心者コースとは云え岩場はきつく、登りきった頂上での爽やかな風に吹かれ、達成感が沸きあがりました。スポーツ健康づくり専門部では、健康への動機付けを図るため『とりあえず一歩』を掲げ、筑波登山を企画しました。

今後も皆さんが、健康づくり事業に参加していただけるよう、事業を実施していきます。健康であることに感謝し、みんなで達成感を味わいませんか。



▼つづやき▲ 本号の編集にあたり、御船祭もあり、より「豊津」の歴史の未知の事を学ぶことができた実感しています。忙しい中でも、地域の方々の豊津行事への参加やご協力に感謝しました。これも、地域の皆様の日頃の行いが良いお陰で、地域行事が素晴らしい天候に恵まれたのだと思っています。(の)